

令和5年度大学院造形芸術研究科(修士課程)入試 第2回入試説明会資料

- 令和4年11月16日 (水)
- 沖縄県立芸術大学

造形芸術研究科 入試説明会資料目次

No.	内 容	ページ
1	入試の概要説明	砂川運営委員長 教務学生課
2	学費・奨学金制度等の紹介	教務学生課
3	教職課程について	芳澤教授 (動画は本学HP)
4	博物館課程について	森教授 (動画は本学HP)
5	開設科目について (専門関連科目・論文演習)	鈴木准教授
6	研究計画書、学位審査申請書について (修士作品・修士論文)	砂川運営委員長 鈴木准教授
7	修了後の進路について	又吉准教授
8	長期履修学生制度について	宇良講師
9	各専修による個別相談	各専修大学院運営委員

学費について

授業料

年額： 535,800円

入学料

県内居住者： 282,000円

その他の者： 512,000円

※ この場合の県内居住者とは、受験する年度の4月1日以前に県内に住所を有し、居住する市町村の住民基本台帳に登録されている者をいう。

このため、沖縄県内に4月1日以前の住民登録がなされている住民票抄本の提出は必須となる。

入学考査料 30,000円

奨学金について

- 経済的理由により修学に困難がある者かつ優秀な学生に対し、学資として貸与等がされるものです。
 - 1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)
 - 2 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(貸与)
 - 3 沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金(給付)
 - 4 市町村及び各種団体奨学金

1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)

貸与額や貸与条件については、日本学生支援機構HPを参照して下さい。

(1) 第一種奨学金

※無利子

(2) 第二種奨学金

(3) 入学時特別増額貸与

注): 一年次のみ。初回振込時又は支援機構の定める月に受けることができます。

注): 入学時特別増額貸与のみ受けることはできません。所定の要件を満たす必要があります。

<特に優れた業績による返還免除について>

- ・ 大学院の第一種奨学金貸与の学生が対象
- ・ 在学中に「特に優れた業績をあげたもの」に対して、返還を免除する制度です。学内選考委員会において、申請された業績や成績などを総合的に評価して選考を行い、支援機構から示された推薦枠の範囲内で返還免除候補者として支援機構に推薦します。

さらに、支援機構で審査が行われ、認められた場合に奨学金の全額又は一部が免除されます。

* 募集要項配布: 12月頃(予定)

<採用申込み(予約)>

- ・ 令和5年4月に本学修士課程に進学を希望する者で、奨学金を希望する者は日本学生支援機構奨学金の予約採用申込が可能です。

* 入学が内定していなくても 応募可能です。

* 予約採用にもれた場合でも、入学後の定期採用に申し込むことは可能です。

* 募集要項配布: 8月初旬(予定)

2 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(貸与)

※無利子貸与

- ・ **沖縄県に住所を有する者**の子弟で、学業、人物ともに優秀でかつ健康である者。学資の支弁が困難な者。
- ・ **他から奨学金の貸与を受けていないもの。**

3 沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金(給付)

沖縄県立芸術大学に在学する学生対象。例年6月に募集。

- ・ 他から奨学金の貸与又は給付を受けていないもの。ただし、留学生はこの限りではない

4 市町村及び各種団体奨学金

各市町村育英会、または育英法人等からの募集については、学生支援システム(UNIPA) 及びキャンパスの掲示板にて随時案内しています。

教職課程について

教職課程とは

教職課程は、教育職員(教員)免許状を取得するために設けられた課程です。造形芸術研究科においては学部における一種免許状取得を前提として、上級の免許状である中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

専修免許状については、事前に以下の内容が**必須**となります。

- ①修士の学位を有すること。又は大学院に1年以上在学し、30単位以上を修得すること。
- ②学部で美術(中学校・高等学校)、工芸(高等学校)一種免許状を取得済みであること。

※学部で美術・工芸の一種免許状を未取得の学生は、学部開設の「教職に関する科目の中から原則として7単位に限り履修することができる。ただし、研究科長が研究科委員会の議を経て認めた場合は、7単位を超えて履修することができる。

一種免許状と専修免許状の違いとは

給与面や役職面で違いがあります。このため就職する際に有利な点があるといえます。

大学院において取得できる免許状の種類及び教科

研究科	専攻	種類	教科
造形芸術研究科	生活造形専攻	中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	美術(デザイン専修に限る)
		高等学校教諭専修免許状	工芸(工芸専修に限る)
	環境造形専攻	中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	美術
	比較芸術学専攻	中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	美術

博物館学課程について(予定)

◇新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性があります。

- オリエンテーションについて

4月: 博物館学課程におけるオリエンテーション

10月: 博物館実習のオリエンテーション

1月: 博物館実習の申し込み

翌年4月: 博物館実習前のオリエンテーション

6月: 博物館実習事前指導

博物館実習へ

※博物館学課程は免許状の発行ではなく取得単位の「学芸員資格取得証明書」の発行を行います。

博物館学課程について

科目	区分	授業科目名	履修単位	合計単位
指定教育科目	必修科目	生涯学習概論	2	19
		博物館概論	2	
		博物館経営論	2	
		博物館資料論	2	
		博物館資料保存論	2	
		博物館展示論	2	
		博物館情報メディア論	2	
		博物館教育論	2	
		博物館実習	3	

科目	区分	授業科目名	履修単位	履修単位	合計単位
関連教育科目	必修科目	日本美術史	2	8	16
		東洋美術史	2		
		西洋美術史A	2		
		西洋美術史B	2		
	選択科目	美学	2	8単位を選択	
		現代芸術概論	2		
		沖縄美術工芸史	2		
		一般芸術学	2		
		絵画史	2		
		彫刻史	2		
		デザイン史	2		
		工芸史	2		
		現代芸術論A	2		
		現代芸術論B	2		
		西洋建築史	2		
		日本建築史	2		
		陶磁史	2		
		染織工芸史	2		
		漆芸論	2		

開設科目については下記のとおりです。（専門関連科目・論文演習）

生活造形専攻

【工芸専修】

専修区分	研究室	授業科目		単位	履修年次	最低履修単位
必修	染	染研究Ⅰ	★	12	1	30単位以上
		染研究Ⅱ	★	12	2	
		論文演習		2	1	
	織	織研究Ⅰ	★	12	1	
		織研究Ⅱ	★	12	2	
		論文演習		2	1	
	陶磁器	陶磁器研究Ⅰ	★	12	1	
		陶磁器研究Ⅱ	★	12	2	
		論文演習		2	1	
	漆工	漆工研究Ⅰ	★	12	1	
		漆工研究Ⅱ	★	12	2	
		論文演習		2	1	
選択		選択科目から		4	1~2	

【デザイン専修】

専修区分	研究室	授業科目		単位	履修年次	最低履修単位
必修	視覚伝達 デザイン	視覚伝達デザイン研究ⅠA	★	6	1	30単位以上
		視覚伝達デザイン研究ⅠB	★	6	1	
		視覚伝達デザイン研究ⅡA	★	6	2	
		視覚伝達デザイン研究ⅡB	★	6	2	
		論文演習		2	1	
	生活環境 デザイン	生活環境デザイン研究ⅠA	★	6	1	
		生活環境デザイン研究ⅠB	★	6	1	
		生活環境デザイン研究ⅡA	★	6	2	
		生活環境デザイン研究ⅡB	★	6	2	
		論文演習		2	1	
選択		選択科目から		4	1~2	

【絵画専修】

専修区分	授業科目		単位	履修年次	最低履修単位
必修	絵画研究Ⅰ	★	12	1	30単位以上
	絵画研究Ⅱ	★	12	2	
	論文演習		2	1	
選択	選択科目から		4	1～2	

【彫刻専修】

専修区分	授業科目		単位	履修年次	最低履修単位
必修	彫刻研究Ⅰ	★	12	1	30単位以上
	彫刻研究Ⅱ	★	12	2	
	論文演習		2	1	
選択	選択科目から		4	1～2	

関連科目(生活造形専攻・環境造形専攻)

履修区分	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	備考
選	(芸)比較美学研究A	☆△	2	1~2	
	(芸)比較美学研究B	☆△	2	1~2	
	(芸)比較芸術学特殊研究A		2	1~2	
	(芸)比較芸術学特殊研究B		2	1~2	
	(芸)日本芸術批評史研究A	☆△	2	1~2	
	(芸)日本芸術批評史研究B	☆△	2	1~2	
	(芸)東洋芸術批評史研究A	☆△	2	1~2	
	(芸)東洋芸術批評史研究B	☆△	2	1~2	
	(芸)西洋芸術批評史研究A	☆△	2	1~2	
	(芸)西洋芸術批評史研究B	☆△	2	1~2	
択	(比)民族工芸論研究		4	1~2	
	(芸)民族芸術文化学研究A		2	1~2	
	(芸)民族芸術文化学研究B		2	1~2	
	(芸)日本芸術文化学研究A		2	1~2	
	(芸)日本芸術文化学研究B		2	1~2	
	(芸)東洋芸術文化学研究A	■	2	1~2	
	(芸)東洋芸術文化学研究B	■	2	1~2	
	(芸)民族芸術学持論	■	2	1~2	
	(芸)琉球歌謡論研究A		2	1~2	
	(芸)琉球歌謡論研究B		2	1~2	
(芸)比較工芸史研究	■	2	1~2		

関連科目(生活造形専攻・環境造形専攻)

続き

履修区分	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	備考
選	(芸)琉球史持論		2	1~2	
	(デ)装飾様式論	■	2	1~2	
	(デ)生活環境デザイン論	■	2	1~2	
	(デ)産業デザイン論	■	2	1~2	
	(デ)映像論	△■	2	1~2	
	(デ)舞台美術論	△■	2	1~2	
	(彫)環境芸術演習	△■	2	1~2	
	(芸)民族芸術文化史持論		2	1~2	
	(芸)比較民俗学研究A		2	1~2	
	(芸)比較民俗学研究B		2	1~2	
択	(芸)東南アジア文化研究A		2	1~2	
	(芸)東南アジア文化研究B		2	1~2	
	(比)東洋工芸史研究		4	1~2	
	造形総合演習		2	2	

関連科目(生活造形専攻・環境造形専攻)

履修区分	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	備考
自由	(染)染課題演習	☆	2	1~2	(修了単位に算入されない。) (注)1. 登録にあたっては事前に各担当研究室に相談すること。 (注)2. 提供専修(工芸専修は提供研究室)の学生は登録できない。ただし、教育・学術交流協定大学との単位交換の場合は可能。
	(織)織課題演習	☆	2	1~2	
	(陶)陶磁器課題演習	☆	2	1~2	
	(漆)工課題演習	☆	2	1~2	
	(デ)デザイン課題演習	☆△■	2	1~2	
	(絵)絵画課題演習	☆△	2	1~2	
	(彫)彫刻課題演習	☆	2	1~2	

- (注) (芸)は比較芸術学専修提供科目 (デ)はデザイン専修提供科目
 (彫)は彫刻専修提供科目 (比)は博士課程比較芸術学研究領域提供科目
 (染)は工芸専修染研究室提供科目 (織)は工芸専修織研究室提供科目
 (陶)は工芸専修陶磁器研究室提供科目 (漆)は工芸専修漆工研究室提供科目
 (絵)は絵画専修提供科目

比較芸術学専攻

比較芸術学専修

履修区分	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	最低履修単位	
選 択	比較美学研究A	☆△	2	1~2	14	30単位以上
	比較美学研究B	☆△	2	1~2		
	比較芸術学特殊研究A	☆△	2	1~2		
	比較芸術学特殊研究B	☆△	2	1~2		
	日本芸術批評史研究A	☆△	2	1~2		
	日本芸術批評史研究B	☆△	2	1~2		
	東洋芸術批評史研究A	☆△	2	1~2		
	東洋芸術批評史研究B	☆△	2	1~2		
	西洋芸術批評史研究A	☆△	2	1~2		
	西洋芸術批評史研究B	☆△	2	1~2		
	比較工芸史研究		2	1~2		
	民族芸術文化学研究A		2	1~2		
	民族芸術文化学研究B		2	1~2		
	日本芸術文化学研究A		2	1~2		
	日本芸術文化学研究B		2	1~2		
	東洋芸術文化学研究A		2	1~2		
	東洋芸術文化学研究B		2	1~2		
	民族芸術文化史特論		2	1~2		

比較芸術学専攻

比較芸術学専修 (続き)

	芸術学特殊研究A		2	1~2		
	芸術学特殊研究B		2	1~2		
	比較美学特殊演習Ⅰ	☆△	4	1		
	比較美学特殊演習Ⅱ	☆△	4	2		
	比較芸術学特殊演習Ⅰ		4	1		
	比較芸術学特殊演習Ⅱ		4	2		
	日本美術史特殊演習Ⅰ	☆△	4	1		
	日本美術史特殊演習Ⅱ	☆△	4	2		
	東洋美術史特殊演習Ⅰ	☆△	4	1		
	東洋美術史特殊演習Ⅱ	☆△	4	2	8	
	西洋美術史特殊演習Ⅰ	☆△	4	1		
	西洋美術史特殊演習Ⅱ	☆△	4	2		
	民族芸術文化学特殊演習Ⅰ		4	1		
	民族芸術文化学特殊演習Ⅱ		4	2		
	日本芸術文化学特殊演習Ⅰ		4	1		
	日本芸術文化学特殊演習Ⅱ		4	2		
	東洋芸術文化学特殊演習Ⅰ		4	1		
	東洋芸術文化学特殊演習Ⅱ		4	2		
必修	課題研究Ⅰ		2	2	4	
	課題研究Ⅱ		2	2		
選択	関連科目から		2	1~2	4	

比較芸術学専攻

関連科目(比較芸術学専攻)

履修区分	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	備考
選	民族芸術学特論		2	1～2	
	琉球歌謡論研究A		2	1～2	
	琉球歌謡論研究B		2	1～2	
	比較民族学研究A		2	1～2	
	比較民族学研究B		2	1～2	
	東南アジア文化研究A		2	1～2	
	東南アジア文化研究B		2	1～2	
	琉球史特論		2	1～2	
	(比)民族工芸論研究		4	1～2	
	(音)民族舞踊学研究		4	1～2	
択	(音)民族音楽学研究		4	1～2	
	(音)琉球音楽論研究		4	1～2	
	(比)東洋工芸史研究		4	1～2	
	(デ)装飾様式論		2	1～2	
	(デ)生活環境デザイン論		2	1～2	
	(デ)産業デザイン論		2	1～2	
	(デ)映像論		2	1～2	
	(デ)舞台美術論		2	1～2	
	(彫)環境芸術演習		2	1～2	
	(染)染課題演習		2	1～2	

比較芸術学専攻

関連科目(比較芸術学専攻) (続き)

履修区分	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	備考
選	(織)織課題演習		2	1~2	(注)各課題演習の登録にあたっては事前に担当研究室に相談すること。
	(陶)陶磁器課題演習		2	1~2	
	(漆)漆工課題演習		2	1~2	
択	(デ)デザイン課題演習	☆△	2	1~2	
	(絵)絵画課題演習	☆△	2	1~2	
	(彫)彫刻課題演習	☆△	2	1~2	

- (注) (比)は博士課程比較芸術学研究領域提供科目 (音)は音楽芸術研究科提供科目
 (デ)はデザイン専修提供科目 (彫)は彫刻専修提供科目
 (染)は工芸専修染研究室提供科目 (織)は工芸専修織研究室提供科目
 (陶)は工芸専修陶磁器研究室提供科目 (漆)は工芸専修漆工研究室提供科目
 (絵)は絵画専修提供科目

教職課程表

専修免許状	授業科目 (別表第2に表示)	必要 単位数	生活造形専攻		環境造形 専攻	比較芸術学 専攻
			工芸 専修	デザイン 専修		
中学校教諭専修免許状 (美術)	各専修教職必修科目(★)	24	24	24	24	—
	各専修教職選択科目(☆)		22	20	28	58
高等学校教諭専修免許状 (美術)	各専修教職必修科目(★)	24	—	24	24	—
	各専修教職選択科目(△)		—	26	26	—
高等学校教諭専修免許状 (工芸)	各専修教職必修科目(★)	24	24	—	—	—
	各専修教職選択科目(■)		22	—	—	—

(注)生活造形専攻及び環境造形専攻においては、教職選択科目も履修することが望ましい。(第9条参照)

集中講義について

前期と後期に専門関連科目の集中講義が行われます。

一つの科目は3日間程ですが、著名な先生も多く深い教養を身につけることができます。

◇令和4年度前期集中講義

期間: 令和4年9月11日(日)～9月25日(日)

◇令和4年度後期集中講義

期間: 令和5年2月6日(月)～2月22日(水)

研究計画書について

- 学生は、毎学年度始めの所定の期日までに、研究実施計画書（第1号様式）を提出しなければならない。【履修規程第3条】

履修案内P18-19 研究実施計画書

提出期限：例年5月31日となっています。

- 指導教員及び担当教員について

令和5年度大学院造形芸術研究科学生募集要項P14参照

大学院研究室担当一覧

生活造形専攻	工芸専修	染研究室	☆名護 朝和 宇良 京子	教授 講師
		織研究室	☆花城 美弥子 久保田 寛子	教授 准教授
		陶磁器研究室	☆山田 聡 島袋 克史	教授 講師
		漆工研究室	☆當眞 茂 松崎 森平	教授 講師
	デザイン専修	視覚伝達デザイン研究室	☆仲本 賢 ☆赤嶺 雅 笹原 浩造 又吉 浩	教授 教授 准教授 准教授
		生活環境デザイン研究室	☆宮里 武志 ☆高田 浩樹 赤塚 美穂子	准教授 准教授 講師
環境造形専攻	絵画専修	油絵研究室	☆知花 均 ☆高崎 賀朗 阪田 清子	教授 教授 准教授
		日本画研究室	☆香川 亮 喜多 祥泰 関谷 理	教授 准教授 准教授
	彫刻専修	彫刻研究室	☆砂川 泰彦 ☆松本 隆 河原 圭佑 長尾 恵那	教授 教授 准教授 講師
比較芸術学専攻	比較芸術学専修	美学・芸術学研究	☆喜屋武 盛也 土屋 誠一	教授 准教授
		美術史研究	☆尾形 希和子 ☆小林 純子 金 恵信	教授 教授 教授
		民族芸術文化学研究室	☆森 達也 波平 八郎 鈴木 耕太	教授 教授 准教授

☆は指導教員

学位審査申請書

- 修士作品又は修士論文の提出は、研究科に1年以上在学し、第4条に定める履修方法により、2年次修了時までには30単位以上を修得見込みの者に限るものとする。【履修規程第3条第2項抜粋】
- 修士作品又は修士論文を提出しようとする学生は、指導教員の承認を得て、あらかじめ研究科長が指定する期日までに、学位審査申請書（第2号様式）により申請しなければならない。【履修規程第7条第2項】

履修案内P20-21 学位審査申請書、学位論文等の審査基準について

令和4年度の提出期限：令和4年5月6日（金）【前期修了予定者】

令和4年11月4日（金）

修士作品、修士論文について

「修士作品」・・・修士課程を通じた研究の成果物であるため、審査基準は「（各専門）研究Ⅱの

基準に準ずる。

「修士論文」・・・研究テーマの学術的意義、内容の独創性、実証性、理論性、当該または関連

専攻／専修		最終試験の審査基準※
生活造形専攻	工芸専修	「（各専門）研究Ⅱ」の基準に準じ、修士作品・修士論文を中心として、その関連する理解度を審査基準とする。
	デザイン専修	
環境造形専攻	絵画専修	
	彫刻専修	
比較芸術学専攻	比較芸術学専修	修士論文を中心として、その関連する分野への理解度、回答が適切で明解であること等を審査基準とする。

※修士作品・修士論文の審査終了後に、口述により行う。（専修によりポートフォリオ・レポート等の提出物を求める。）

修了後の進路について

ー 主な就職先 ー

● 工芸専修

染・・・金沢卯辰山工芸工房、星槎グループ、京都栗山工房、城間紅型工房

織・・・(株) SUI、中嶋プランニング、日進商会、株式会社コトブキシーティング
浦添市シルバー人材センター（サン・シルク管理事務所）、
カイハラ株式会社

陶磁器・・・Aki-art、(株) AVURN、(株) パル、(株) クランク、日比谷花壇、
桜坂劇場、大嶺工房、常秀工房

漆工・・・沖縄県工芸振興センター

● デザイン専修

スガゲイト(株)、(株) スコップ、goen、アドスタッフ博報堂、(株) 美峰、茶太郎、
沖縄高等工業専門学校、ハンガリー日本協会、KKI（パン製造会社）、
東京デザインセンター、ヤッチとムーン、エーデルワイス（菓子店）

● 絵画専修

(有) 対ストーン工業、星くず工務店、(株) フェリチエ、(株) 近鉄百貨店
(株) ジョイント会社

修了後の進路について

－主な就職先－

●彫刻専修

沖縄こどもの国、スタジオ de-jinシーサーの石彫刻、那覇造形美術学院、高等学校教諭、沖縄県立博物館・美術館

●比較芸術学専修

リハビリテーション学院講師、IBM、九州国立博物館、彫刻の森美術館、
沖縄県立博物館・美術館・真鶴町立中川一政美術館・九州芸文館

※その他、作家、沖縄県立芸術大学非常勤、教育委員会、教師、学芸員など美術関係・教育関係で活躍している修了生も多い。

※博士課程に進学する学生もいる。

入試概要について

募集人員

専攻	専修	募集人員
生活造形専攻	工芸専修 デザイン専修	9
環境造形専攻	絵画専修 彫刻専修	6
比較芸術学専攻	比較芸術学専修	3 ※（社会人含む）

※9月試験において定員3名を充足しなかった場合、2月試験を実施する。

（9月試験において定員を充足した場合は、2月試験を行わない。）

※2月試験の実施の有無及び募集人数については、9月末日までに本学ホームページにて知らせる。

※入学者が募集人員に満たない場合、二次募集を行う。二次募集の詳細については本学ホームページにて知らせる。

(<http://www.okgei.ac.jp>)

日 程(2月試験：全専攻)

- 1 出願期間 令和4年12月5日(月)～12月12日(月)
- 2 試験日程 令和5年2月4日(土)～2月5日(日)
- 3 合格発表 令和5年2月13日(月) 午前10時
- 4 入学手続 令和5年2月15日(水)～2月21日(火)

※試験実施内容に関する詳細情報は、令和5年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科(修士課程)学生募集要項で確認すること。

※障害を有する等の志願者との事前相談は令和4年11月4日(金)午後5時まで申し出ください。

◇新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、入試科目の見直し、試験方法及び日程を変更する場合があります。その場合は大学HPで告知します。

試験科目

専攻／専修			試験内容			
生活造形専攻	工芸専修		作品提出	小論文	実技試験	面接
	デザイン専修		作品提出	実技試験	小論文	面接
環境造形専攻	絵画専修		作品提出	実技試験		面接
	彫刻専修		作品提出	実技試験 (ドローイング)		面接
比較芸術学 専攻	比較 芸術学 専修	9月 受付修了	研究計画書 (出願時提出)	筆答試験Ⅰ (語学)	筆答試験Ⅱ (専門科目)	口述試験 (面接)
		2月	卒業論文等提出 (事前提出)	筆答試験 (語学)		口述試験 (面接)

**※詳細情報は、令和5年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科
(修士課程)学生募集要項で確認してください。**

◇新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、入試科目の見直し、試験方法及び日程を変更する場合があります。その場合は大学HPで告知します。

長期履修学生制度について

○長期履修学生制度とは

大学院において、職業を有している等の事情により、2年間の修業年限では履修が困難な学生に対して、当該修業年限を超えて履修することができるよう履修期間を延長する制度

○対象者

- ①フルタイム、パートアルバイト含む有職者（官公庁・企業・自営業等）
- ②育児、介護を行う者
- ③その他やむを得ない事情を有し、修業年限での修了が困難な者
※①②のいずれも修学に支障を及ぼさない範囲の者は除外

○修業年限・在学期間

修業年限は2年、在学年限は4年です。

○授業料

履修期間3年の場合

(1年目)	(2年目)	(3年目)
357,200円	357,200円	357,200円

総額は、授業料年額535,800円×修業年限2年=1,071,600円と同じ。